

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適正にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様へお渡しください。**

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

● 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

● 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⊘ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)

警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下する恐れがあります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

注意

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。



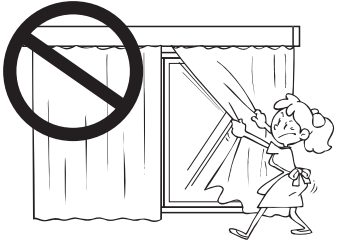
■ 使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)

警告

- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、カーテンにぶらさがらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。



- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



注意

- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。



- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるかカーテンを全開にした状態にしてください。



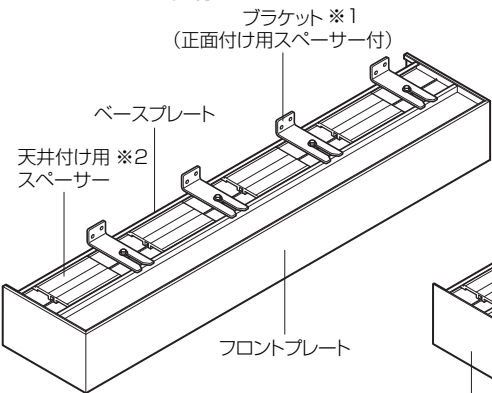
- ⊘ 開閉動作の範囲内に破損の恐れのあるものや操作の障害になる物を置かないでください。



- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

製品全体図及び部品名称

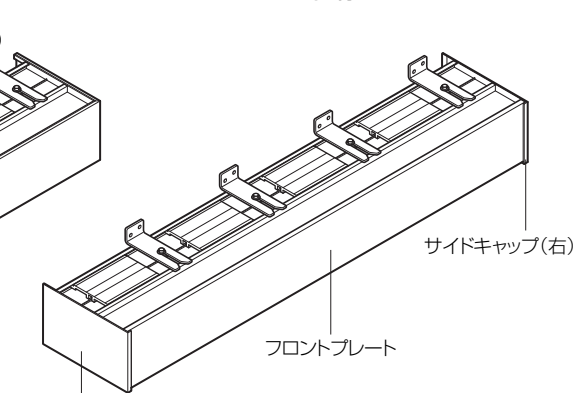
● サイドシール仕様



※1 正面付けの場合

※2 天井付けの場合

● サイドキャップ仕様



サイドキャップ(左)

■ 部品入数

部 品 名	サイドシールタイプ	サイドキャップタイプ
カーテンボックス本体 (レール、キャップ含む)	1セット	1セット キャップ右・左含む
ランナー	16個/m(小数点は切り上げて4の倍数個になります)	
マグネットランナー	2組	
ストップ	4個	
リターン金具	2個	

● 正面付けの場合

部 品 名	～0.8m	～1.4m	～2.0m	～2.6m	～3.2m	～3.8m	～4.0m
ブラケット	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個
正面付け用スペーサー	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個
六角ナット付きネジ	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個
取付けネジ ナベφ3.5×35	4本	6本	8本	10本	12本	14本	16本

● 天井付けの場合

部 品 名	～0.8m	～1.4m	～2.0m	～2.6m	～3.2m	～3.8m	～4.0m
天井付け用スペーサー	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個
ワッシャー	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個
取付けネジ ドリルネジナベφ4.0×60	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本

■ 製品重量

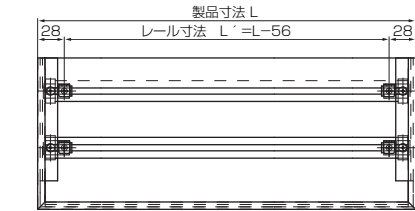
部 品 名	2.00mの場合
ファセット サイドシールタイプ	4.0kg
ファセット サイドキャップタイプ	3.9kg

製品の取付け/ 取外し方法

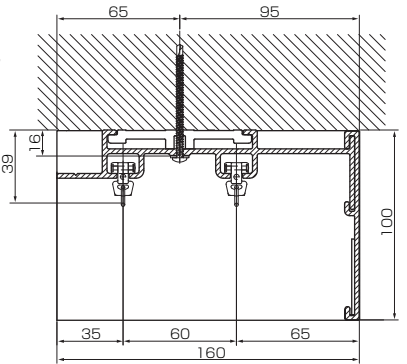
■ 取付けの種類及び取付け寸法図(mm)

● サイドシールタイプ

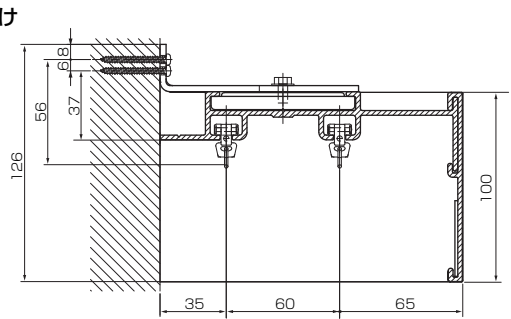
レール寸法



天井付け

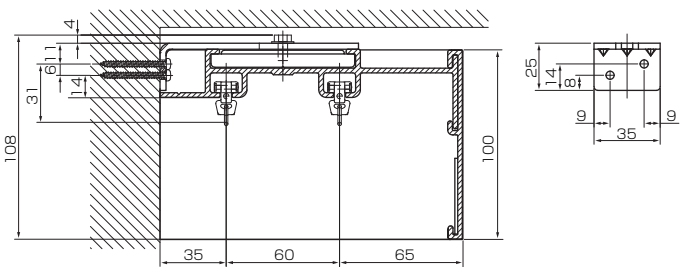


正面付け



正面付け(天井面までの隙間が狭い場合)

※ スパナ等の工具が入る隙間(5mm以上)が必要です。

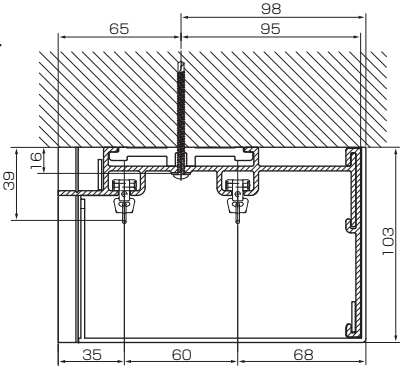


● サイドキャップタイプ

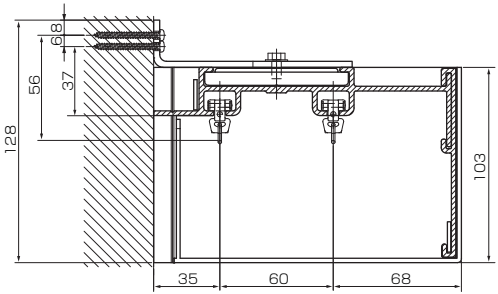
レール寸法



天井付け

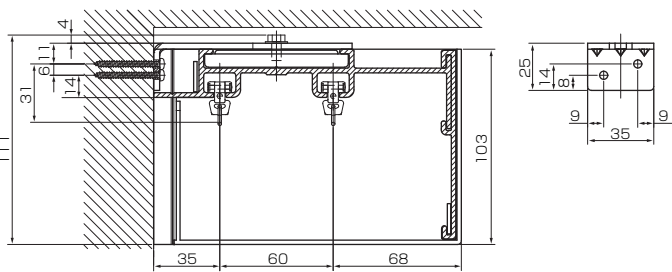


正面付け



正面付け(天井面までの隙間が狭い場合)

※ スパナ等の工具が入る隙間(5mm以上)が必要です。

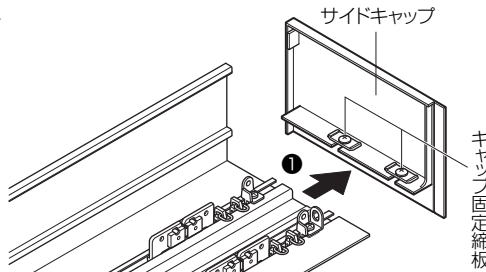


■ 製品のカット方法

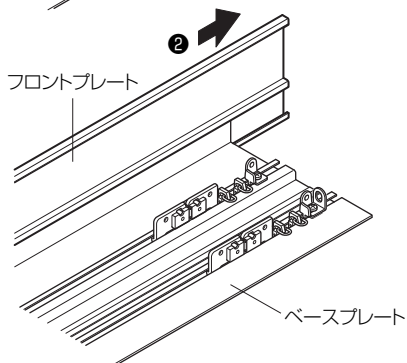
※ サイドキャップタイプはキャップを外し、本体をカットすることができます。カットが必要な場合は、下記手順に従って部品を分解、カットしてください。

※ サイドシールタイプはカットすることができません。

- ❶ キャップ固定締板のネジを緩め、左右のサイドキャップを外してください。



- ❷ フロントプレートをベースプレートから横に抜き取り、分離させます。



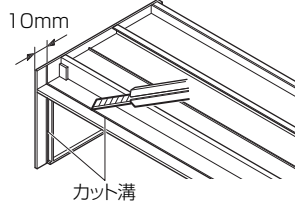
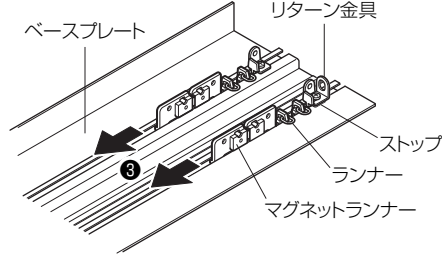
- ❸ ベースプレートをカットする側のストップを緩め、リターン金具、ランナー、マグネットランナーと共に中央に寄せてください。正面付け用スペーサーまたは、天井付け用スペーサーも中央に寄せてください。

- ❹ フロントプレートとベースプレートをノコギリ、プラスチック板用のカッター等で同サイズにカットしてください。

- ❺ 逆の手順で、ベースプレート、フロントプレート、キャップを組み立ててください。

■ 窓枠にぶつかる場合

● 窓枠と製品が干渉する場合、ベースプレートを10mmカットすることで、窓枠等の出幅を避けることができます。また、サイドキャップタイプは同様にサイドキャップをカットすることができます。カット溝に沿って、プラスチック板用カッターでけがき、切り取ってください。



※イラストはサイドキャップタイプです。サイドキャップは取外してカットしてください。

■ 取付け方法

⚠ 注意

- ❶ 壁面、天井面に取付ける場合は下地材を確認して取付けてください。
- ❷ 本体を壁面及び天井面に固定する際、重量がありますので、本体の落下に注意してください。

〈正面付けの場合〉

- ❶ ブラケットは両端部から15cm以内の位置、中間部は60cm以内の間隔が必要です。取付けネジ(ナベφ3.5×35)を使用して、壁面等にブラケットを取り付けてください。ブラケット1か所あたり取付けネジは2本ずつ使用してください。

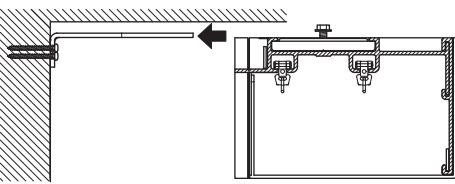
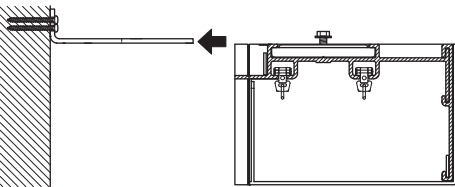
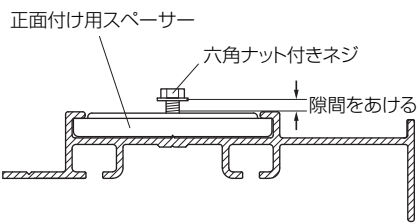
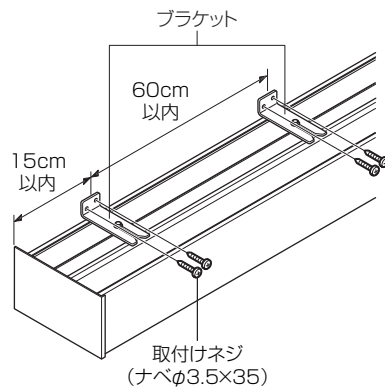
※ ブラケットの向きは、取付ける壁面と天井の隙間、状況に応じてL字、逆L字向きのどちらでも固定できます。

※ ブラケットを天井面に近付けて取付ける場合、スパナ等の工具が入る隙間(5mm以上)が必要です。

- ❷ 正面付け用スペーサーに六角ナット付きネジを取付け、隙間をあけて仮止めしてください。

- ❸ 取付けたブラケットと正面付け用スペーサーの位置を合わせて、六角ナット付きネジをブラケットに正面から差し込み、固定してください。天井までの隙間が狭い場合はスパナ等を使用して固定してください。

※ 製品を固定する際はサイドキャップ部またはサイドシール部が壁に接するまで差し込んでください。



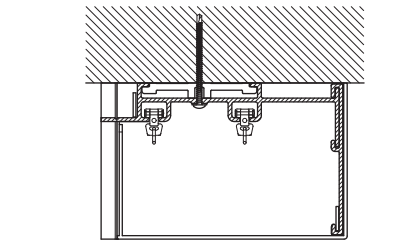
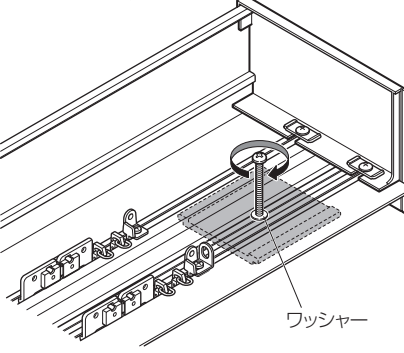
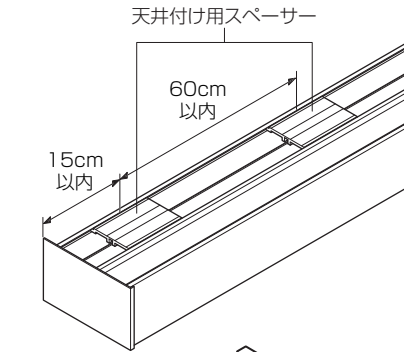
〈天井付けの場合〉

- ❶ 天井付け用スペーサーを下地位置に合わせて調整してください。両端部から15cm以内の位置、中間部は60cm以内の間隔が必要です。

- ❷ 本体の内側を上にして床に置き、ネジの仮止めをします。本体の直付け用V溝に付属のドリルネジ(ナベφ4.0×60)と、ワッシャーを使ってネジの先端が天井付け用スペーサーにぶつかるまで締めて、仮止めしてください。

※ 下地の状況によって付属のドリルネジが使えない場合も、必ず付属のドリルネジかドリルで下穴をあけてください。タッピンネジを直接打つと正しく施工できない恐れがあります。

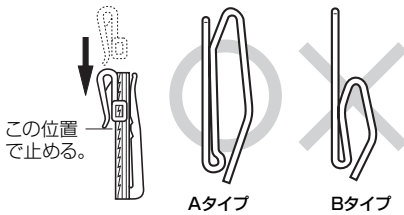
- ❸ 本体を持ち上げドリルネジ(ナベφ4.0×60)を締め込み、下地に確実に固定してください。



カーテンフックについて

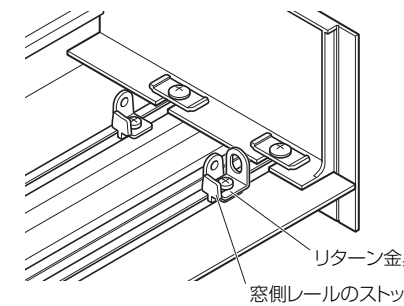
- カーテンフックはカーテンフックAタイプをご使用ください。

※ アジャスタタイプのフックは一番上部まで上げて、ご使用ください。



〈リターンを使用する場合〉

- リターン部分のカーテンフックは、窓側レールのストップに付けられた「リターン金具」に掛けてください。フックが掛けにくい場合は、ストップのネジをゆるめて内側にずらしてください。



お手入れ方法

- シンナー等でふいたり薬品等で洗浄しますと変色・変形の原因になりますのでご注意ください。
- 製品の汚れはきれいなやわらかい布でからぶきしてください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。